



吉岡進の釣りを楽しく感じるままに

E2F

Enjoy Every Fishing no.17

東京湾のルアータチウオ

撮影◎高橋 剛



★猿島沖にタチウオ船団が形成された

アタった！
ゆっくりな
シャクリが
いいみたい

周りの船でも
釣れているから
チャンスだよ！

★状況を把握する
ため常に周りの船
の様子を見ながら
釣りをする

タチウオジギングの釣り方①

ワンピッチ ジャーク

●タチウオジギングはワンピッチジャークが基本。竿先を下げて細かくシャクってジグを跳ね上げさせないショートピッチがおすすめ。あとはタチウオが反応する巻き速度を探していこう。



▲全長82ミリ、120グラムのタングステンジグ。リアバランスでフォールスピードが速く、ジャークすると平らな面が水をつかみ波動を出す。フックはアンチオビタチウオフックのSSサイズ

ヨッシーこと吉岡進がルアー釣りを中心に色いろな釣り物を狙い、毎回釣りの楽しさを伝えていく当連載「Enjoy Every Fishing」(略してE2F)」。第17回はヨッシーが得意とするタチウオジギング。
例年、夏は富津沖などの浅場や第二海壁周りなどで中小型の数の釣りを楽しんでいるヨッシーは、今シーズンも、今シーズンも、浅場の模様は安定せず、最初から型狙いになることもあるそう。

7月下旬に釣行したのは東京湾奥深川・吉野屋。大森健吾船長が最初に船を向けたのは第二海壁周りの水深30〜40メートル前後。ところがタチウオの反応が薄かったため、竿を出さずに猿島沖の水深60メートル前後へ移動となる。

★ワンピッチスロージャークでタチウオを狙う

◀最初に第二海壁周りへ向かったが、タチウオの反応が薄くすぐに移動

◀当日の釣り場は猿島沖の水深60メートル前後

Profile ◆よしおか すすむ
1982年生まれ。ヨッシーの愛称で親しまれている。一つテンヤヤマタイ、ライト系オフショアルアーを得意とする。ジャックソルトプロスタッフ、シーガーインストラクター。

▲ワンピッチショートジャークで連発
▶底から10メートル上まで探ったところで食ってきた

▲フォールのアタリをとらえてタチウオをゲット

▲巻き上げとフォールのどちらもよく釣れた

▲タダ巻きでも釣れる
◀当たりカラーを探すのも面白い

▲指幅3本級のタチウオがメイン
◀ヒットパターンを探るのもタチウオ釣りのだいご味

